

令和2年度スポーツ庁委託事業報告会

「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」成果報告書
～概要版～

2021年4月
札幌市

パラスポーツクラブ-SAPPOROとは？

肢体不自由のある子どもたちが定期的に集まって、指導を受けながら、さまざまな競技に楽しくチャレンジできる、パラスポーツクラブ
 ※ 令和元年度より開始

目指すもの

スポーツ活動の習慣化 ⇒ **青少年の健全育成**
 スポーツを継続して楽しめる拠点づくり ⇒ **裾野拡大**
 競技スポーツの体験機会の充実 + 専門的な指導 ⇒ **競技力向上**

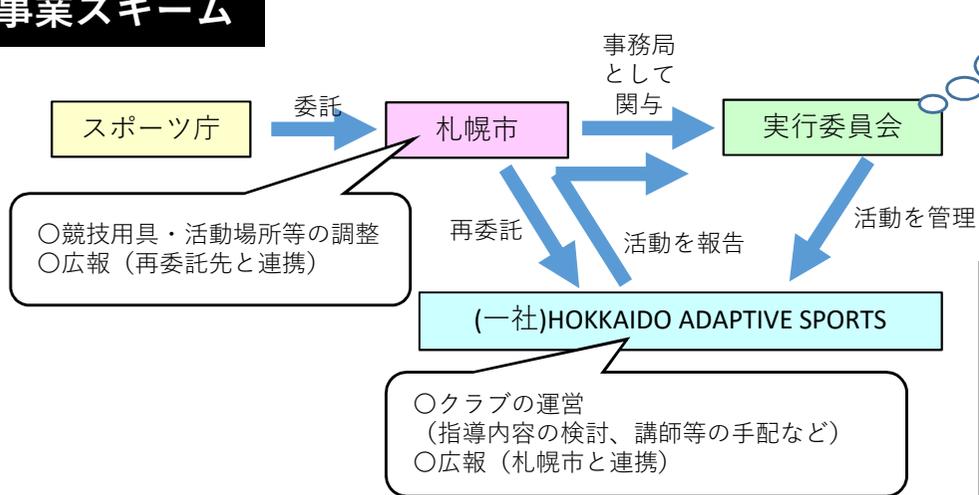
事業実施の背景

- スポーツ習慣・選択肢の不足
- 子ども対象の障がい者スポーツサークルの不足
- 「自分が夢中になれる競技」との出会いの不足

↓

子どもたちが存分にスポーツを楽しめる環境をつくる必要がある

事業スキーム



札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会

障がい者スポーツの普及促進と関係者の連携強化を図るための常設協議会
 ○札幌市主催事業について実効性向上に向けた協議
 ○市内障がい者スポーツ関係情報の共有
 を行う。

- #### 構成団体
- 【札幌市】 スポーツ局、保健福祉局、教育委員会
 - 【障がい者スポーツ団体】 札幌市障がい者スポーツ協会、札幌市障がい者スポーツ指導者協議会
 - 【地域スポーツ団体】 札幌市スポーツ推進委員会、札幌市体育振興会
 - 【公共スポーツ施設管理者】 札幌市スポーツ協会
 - 【教育機関】 北海道教育大学
 - 【民間企業】 北海道新聞社、北洋銀行、北海道銀行

事業期間

2020年9月～2021年2月
月3回程度、土曜14～16時を中心に活動

参加登録者

4～17歳の16人
※うち今年度より参加1人

主な活動場所

札幌市立みなみの杜高等支援学校体育館
(障がい者スポーツ専用の学校開放実施校)



学校開放の枠組を活用して活動場所を確保

実施競技

- ・車いすソフトボール
 - ・車いすバスケットボール
 - ・シットスキー
 - ・車いすマラソン
 - ・車いすテニス
 - ・バイスキー など
- ※ジュニア期に身体を動かすことが重要と考え、
本事業に賛同するアスリートが講師として参画



新型コロナウイルス感染対策

- ・使用用具の消毒
- ・マスクの着用
- ・こまめな手洗い
- ・入館時の車いすタイヤの消毒
- ・換気の徹底
- ・電子ホイッスルの使用
- ・対人プレイのできる限りの自粛
- ・少人数に分けての分散開催

スポーツへの関心

- ・ 多種目に触れることで、スポーツ全般への関心が増した。
- ・ 継続的な活動の場があることで、スポーツが習慣化された。
- ・ 新たに好きになれるスポーツと出会えた。



コミュニティとしての機能

- ・ 様々な年代の子ども同士が活動することで、他者との関わり方に成長が見られた。
- ・ 障がいのある子を持つ保護者同士の交流の場となった。
- ・ 養護学校教諭等とスポーツをつなぐ交流地点となった。

保護者の声

- ・ 「以前はイベントでの体験だけだったが、クラブが始まってからは、毎週のように身体を動かすことが出来ている。」
- ・ 「このようなクラブを通じて、子どもたちの笑顔が増えてほしい。」
- ・ 「本当に楽しめる場所、くやしいと思ったり、うまくなりたい、負けたくないと思ったりする場所が本当にありがたかった。」